

池田先生へ

原爆の話を聞かせていただきありがとうございました。私は歴史の年表で一番いんしょう強く残っているのが、1945年8月6日です。受験の時も、広島に原爆が落ちた事が書かれていました。けれど、今日始めてくわしく話を聞きました。思っていた以上にすごかったんですね。私だったら、人を見つけないで、広島から逃げていたと思います。なので、とてもすごいなあと感じました。話の中で一番感動したのが、最後のほうのお話です。傷をおっている女の子をたすけてあげた。とても感動します。原爆が落ちた後も、原爆の事を思い出すと、大変つらい思いをしたと思います。なのでこの話を私も弟やお母さん、友達などに教えてあげたいと思います。原爆はとても危険という事が、あらためてわかりました。これからは、原爆などが落ちない、とても平和な国になるといいと思います。

今回は、原爆のお話をしにきていただき、ありがとうございました。

6年組 横山 愛莉



池田先生へ

このたびは、貴重なお話をありがとうございました。

僕は、原子爆弾にきょうみをもち、将来は、「原水爆禁止世界大会」に出たいと思います。

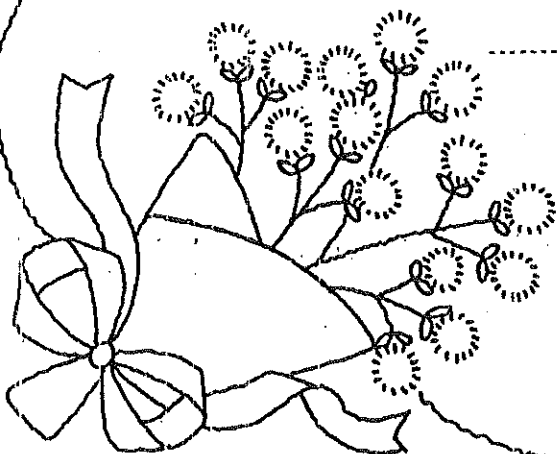
原子爆弾をうけて、おなくなりになった人々のご命をいのり、これから、原水爆を絶対になしたいと思います。

また、原子爆弾の恐い話を後世に伝えていきたいです。

今の世の中、原子爆弾などの核爆弾のほか、クラスター爆弾や地雷などの新型兵器があります。それも、なくしてほしいと思います。

6年1組 12名

成宮 澤 有 也

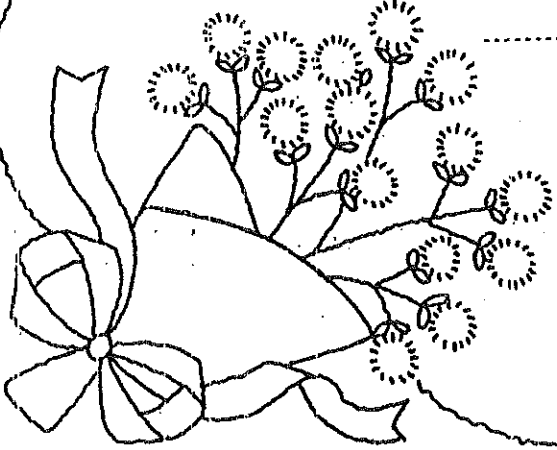


戦争の話と聞いて、
原爆のことがよくわかり
ました。

戦争が終わって何年もたつ
と忘れようとしていた戦争の話も
聞けたことはとてもよかったです
また、原爆のことが少しづつ分か
りかけたのでもうためになりました。

また、死者が数十万人と大島の人
のことを考えて、これからは絶対に
戦争をやめ、また紛争なども
解決していく必要がある。

これからは戦争を体験した人は
ほとんどいなくなってしまうので
次の世代がそれをつなげ
て、原爆や戦争のことを
忘れないようにしていき
たいと思います。



阿部 有希

池田先生へ

今回は、とても貴重なお話をしていた
いただきありがとうございました。

1945年の8月6日と8月9日に落とされた原子
爆弾は、非人間的なと思いました。

ぼくたちは戦争のない時期に生まれてまか
ったと思いました。

原子爆弾というのはウランという物質からでき
ていて、ゴルフボールほどのウランで広島
の全体に被害をおよぼす、ということ
も分かりました。

ぼくは、原子爆弾のことをもっと知って
いる人は人に広めていくことにし
たいです。

6-1 倉田護希

ぼくは今日の池田さんの父の池田義三さんが広島にいった時の気持ちがよく分かりました。どのように分かったかという池田さんの父の池田義三さんが広島にいて帰ろうとした時原子爆弾の被害で皮膚が焼ける又は、原子爆弾の病にかかるといふ人々を助けてくても助けられないという気持ちが分かりました。

だから池田さんはNPOで働きたいというようなことがないようになっていることも分かりました。

原子爆弾にやられてしまう人々は、生きようと思っても亡くなってしまふ。だから、その病は子供へと伝わり感染してしまふ。僕は決して生きようとする希望を持っている人にそのようなことは仕打つだと思ひます。

だから一生このようなことがないように政府にかんづつてもらいたいと思ひ、心の中で協力します。

6年1組 佐藤 俊彦

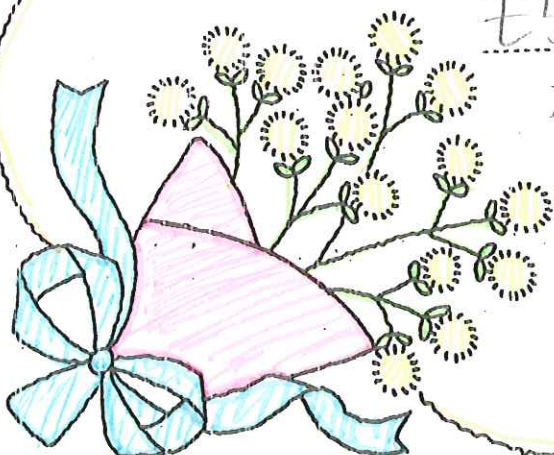


今日は学校に来ていただき
ありがとうございます。
ぼくがテレビなどで見たり聞
いたりしたことのある戦
争の話してちがってとても
本人の気持ちや出来きごと
などが鮮明に伝わってき
ました。

特に、ぼくが好きな所は死体
の処理をしている時につ
らくなって逃げ出そうとしたけ
ど、やはり軍の命令だからと
あきらめずに仕事を続け
た所がぼくも何かあきらめ
ずにやりとげたいという気持ち
になりました。

今回こんなにくわしく教えて
もらったのは始めてなので
機会があったらくわしく
しらべてみたいですよ。

梶田 巧



池田さんへ

僕は、戦争に関連することを調べるのが好きで、ある程度は原爆や水爆のことを知っていましたが、細かい数字や原理は知らなかったのて、僕にとっても意味のある話しでした。

また、そのため原爆や水爆の悲惨さが良くわかりました。

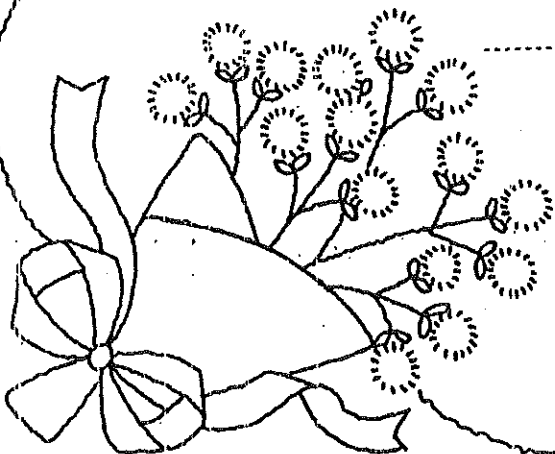
そして、このようなことが、もう二度と起こらないように、僕らが語り継がないといけないと思いました。

さらに、僕は将来、医者になることが夢です。そのため、原爆症に苦しむ人達に関わることがあるかもしれません。

いや、関わりたいと思っています。

被爆者の無念のために...

黒門小学校 6年1組
大塚 晃樹



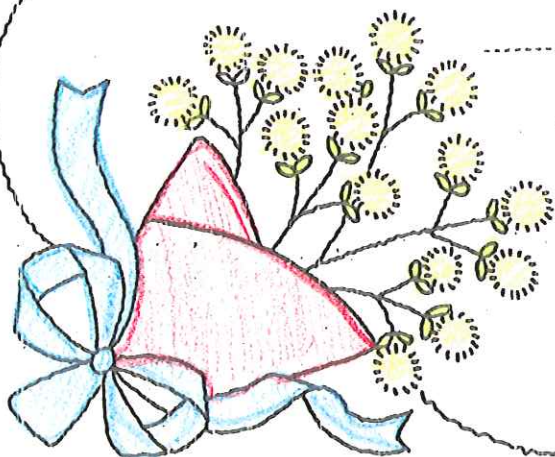
池田さんへ

いままであまり、原子爆弾の
恐怖についてそんなに
知らなかったけど今日のお話で、
原子爆弾の恐怖がよくわかりました。
原子爆弾が落とされた国は、世界で
ただ一つ日本ですが、なぜ広島と
長崎に落としたのかとても疑問に
思っています。

もし東京に落とされたらと思うと
怖くて怖くてたまりません。

今年で六十五年たちますが、こういう
ひどいことがもうおきないように、
池田さんが言ってくれたけど後世に
伝えていきたいと思っています。

ありがとうございました。



6-1

細沼 怜央

池田 真徳さんへ

今日は、広島原爆のお話を聞いて
約70年たった今でも70年前のあの
原爆の事が凄く驚きました。
原爆の他に、戦争と言う大きな事が
現実にあったと...その時じたいが、
私にとっては...衝撃でした。
原爆の後の生活ぶりも聞いて...ケガ
子供、親、身内の誰か無くした人、くる
しい思いをしたとそうぞうした所で、凄く
悲しくなりました。

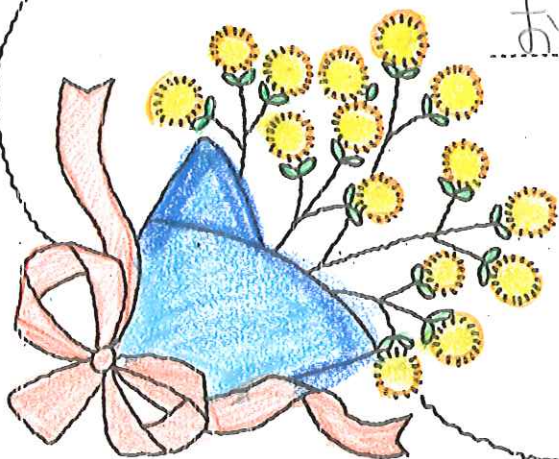
人と人が争って、殺し合うなんてもう
二度とあってほしくない。

あれは悪夢を誰かしかけられてんじな
いか思うぐらい...

もう、こういう大変リアルティがある
生のお話は世代にわたったとしても、聞
く場などが限られているので、凄く良い
お話を聞けました。

本当に、貴重なお話をきけ
て有り難うござい
ました。

六年一組 井上 莉那



池田さんへ

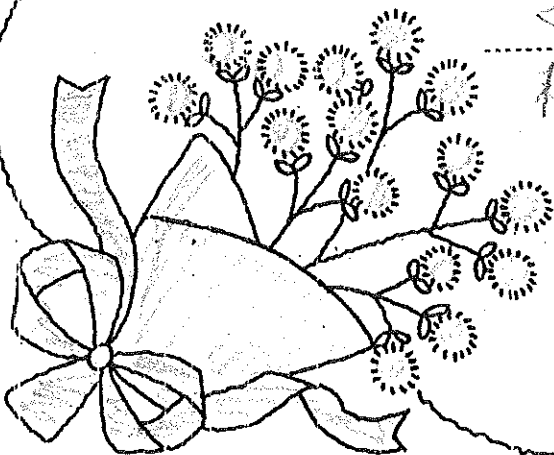
今日は、広島原爆のお話しを
ありがとうございます。

私は、戦争を体験したことが
ないので、とても、しんせんでした。
いま、現在、戦争を体験した人は
少ないと言っていました。
そして、これから、その話を伝えて
いかなければ、いけないと言っ
ていました。

私は、こんな命の重さや、大切さを
伝えていきたいと思いました。
そして、にどと、おなじ事をくりかえさな
いように、もっとたくさんの人々に
知ってほしいと思いました。

戦争で、くらしむ人、なくなる人
そうゆう人もふやさないう。これから
みんなが平和で安全で自由な
くらしをするように、そうゆう
様になるように、と
思います。ありがとうございます。
ごめんなさい。

石川



池田 真徳さんへ

今日は広島原爆のお話を聞いて
約70年たった今でも約70年
前の原爆のことがすごくお
どろきました。

原爆の他に戦争という大き
なものが現実にあったその時
代がとても、衝撃でした。

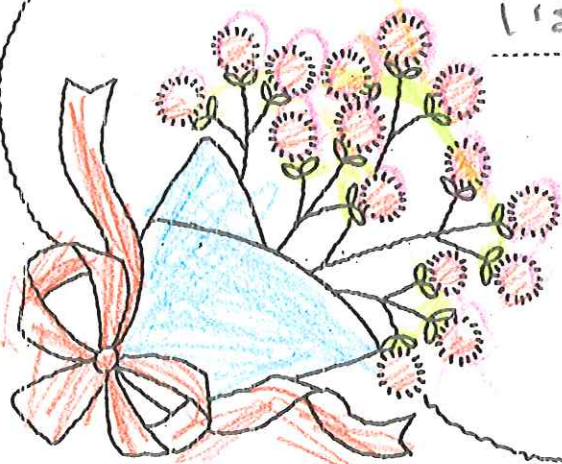
原爆の後の生活ぶりも聞いてケガ
子供、親、身内の誰かを無くした人くら
しい思いをしたと... そうだった所が
凄く悲しくなりました。

人びんが争って、殺し合っ
て二度とあってほしくないと思
います。

もう、こういう大変リアルな
お話しのお話は世代におたっ
たとしても、場などが保たれて
いるので、すごくよいお話を
聞けました。

本当にありがとう
ございました。

6-1 佐倉里奈



池田眞徳 さんへ

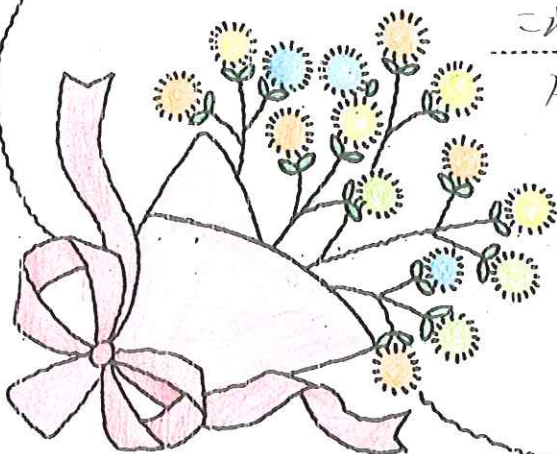
今日は「ヒロシマの九日間」というお話を聞かせていただき誠にありがとうございました。

ニュースで親などの人の話を聞くとあまりそうでもないような感じもしますが、池田さんのお父さんが実際に体験した話だと、とてもひどい現場で、色々な人が「助けて」と言っているのが今にも聞こえてきそうで、助けようとした時の皮肉が考えるだけで目をつぶってはいそいでした。おけの中に人がいるというのを聞くと、本当に死の目前だった人だと思います。川にもいると聞くと、かなりせんこくなものだと思います。アメリカがソ連より優位に立ちたい理由が本当だとすると、私はアメリカをゆるしません。日本だけにやるということ、広島、長崎をねらったこともゆるしません。

私は池田さんのお父さんは平和主義かできてうれしかったのではと思います。

これからも「ヒロシマの九日間」を色々な人に教えてくださいますように。そしてがんばってください。

6-1 柳原 麻理



池田先生へ

戦争のお話をしてくだ
さつ、ありがとうござ
いました。

戦争時は、とても大変
だった。また、原子爆
弾が落ちたときは、
何が、たかわから
なかつた。たなびが、よく
わかりました。

そして、私が一番び、
くりとしたのが、後遺
症が残ると聞いたこ
とです。戦争がお
わったあとも、大変な
おもいをするとおも
うとすごく悲しく
なります。

戦争の話を
してくださつて
ありがとうござ
いました。

6-1 上倉万里奈



池田さんへ

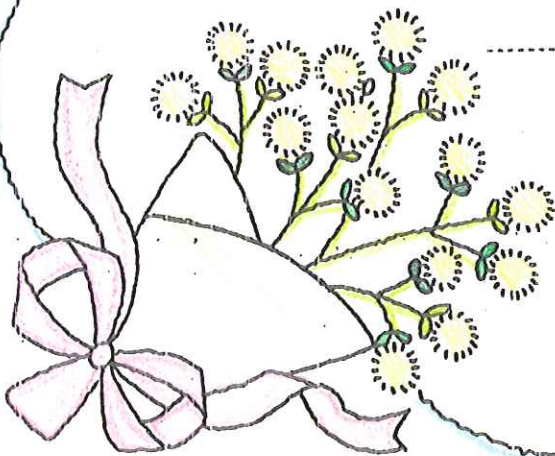
広島での話、心に残るような話でした。
原子ばくだんは空中ではくはっし、 1000°C を
かるがるこえる温度が自分をおそうなんて
考えるだけで えるえてしまうものでした。

100°C でお湯がふっとうするのに、その何十倍
何百倍の温度なんて想像が付きません。

それと ばくはっ後の広島にいた人々の
様子の話。それは、ある映画の話にリッキリ
でした。その話とは「ぼたるのはか」。おなじく戦争中の
話です。真赤に焼けた顔やうで。映画でみたも
のと、話の内容がいっしょで、その場でえるえるよう
なコワさでした。

このような戦争が2度とくり返されぬよう、
この話は、たくさんの人に教えたい。そう私は
思い、願っています。

最後に、貴重な話を聞かせて
いただき、ありがとうございました。
6年1組 小泉明晴



池田さんへ

「戦争はいけないものだ。」「世界は平和でなくてはならないんだ。」

身近にいる大人は、よくそう言い、私自身もそう思っていました。

しかし、実際の体験談を今回うかがい、改めて、戦争のむごさを実感し、また、強く、平和の大切さを感じました。

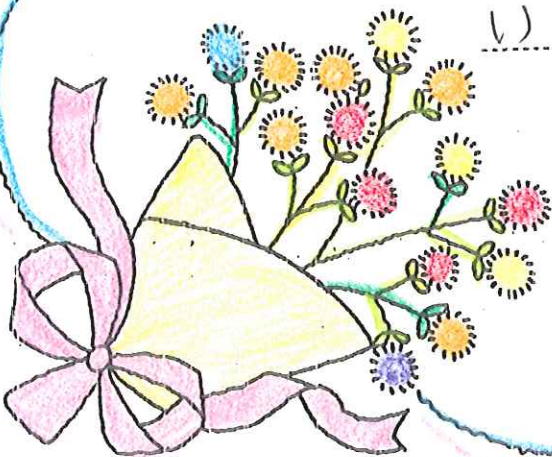
この間、私達は社会科で国際連合について勉強しました。国際連合では、さまざまな機関が協力しあっています。

(戦争は、すぐに始めることができるけれど、平和は、みんなで協力しなければ、できないことなんだ。)と思いました。

今回のお話で、今までよりも、さらに平和に興味をもち、(できることがあれば、実行して、平和に貢献したい)と思いました。

今回は、貴重な体験をさせていただき、本当にありがとうございました。

本橋 沙耶



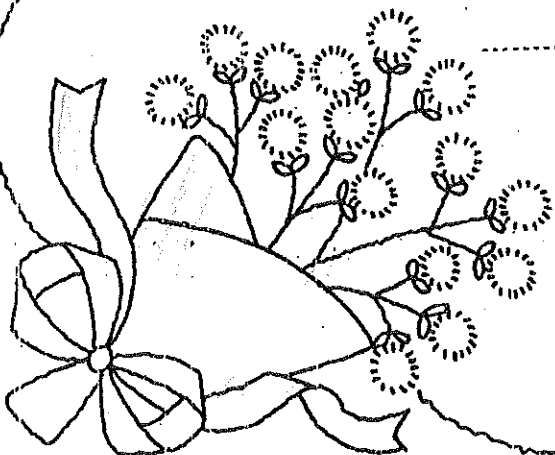
池田先生へ

私は今回のお話を聞いて、
本当に、原爆のこわさが分
かりました。聞いてみると
まだ想像もできないくらい
悲しいことでしたが、でも
それを悲惨だからこそ語り
ついで行かないといけ
ないと思います。

もう、何十年も前のことな
ので話を聞けることは
あまりないと思いますが、
次の時代、その次の時
代と将来へ活かして
行、たら同じ誤ちをくり
返さないであらうので、
できるだけ多くの人に
話したいです。

6-1

清水 愛理



池田さんへ

今日、池田さんの広島

原爆の話を聞いて、大層

は原爆が凄かったですよ。

かど水だけ揃った犠牲に

人の命を救えなくて、

どうにか、1945年の

ついでに光が見えました。

その後、原爆の被害が

木たちに返ったのか、

の時は来世の中で感じ

池田さんの父は当時

池田さんの体罰は

い水られた事、

11の原爆は決して

の話をした体罰は

死をさせた人が決

決して原爆をく

る。

今日はお話を

感謝します。

のー原爆大



池田先生

今日、ありがとうございます。

しました。

広島の原爆の語は、あまり聞

いたことがないので、さういふ感動しました。

私は、池田先生の、お話し、様子が、広島の見

料館に行かれた時、女の人、人形を見

て「きれいなね」とお話し、して、いたと、聞か

ました。正しい歴史を、私達は、合せて、し

ながら、たのびながら、お話し、します。

時代は、おきて、広島、の原爆の語、をする

も、少く、なると、思、います。池田先

生、が、学校、を、お話し、して、な

る、ので、これから、平和、になる

ん、と、思、います。

少く、なると、私は、未来、を、平和、に、し

る、ように、できる、だけ、協力、した、と、今、日

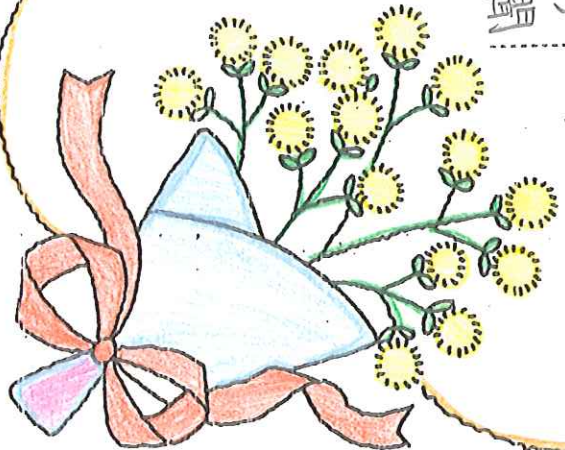
池田先生の、お話を、聞、き、たい、と、思、い、ま

した。

今日、ありがとうございます。

ありがとうございます。

二月十八日 奥田姫之



池田先生へ

私は「平和主義」です。戦争

争なんてしたく奴だけすれはい

のに、なんて「ピース」を見ながら思

「してしまうのですが、そのように物事が上

手く選ばれれば戦争なんて無いのですよね。「皮ふ

く肉がとれた」などと生々しい表現を使う文を

聞いて、「罪の無い人が苦しんでいる」感じがしな

しても楽に「死んでいく」のはおかしいな

と思います。本来ならば病院の白いベッドで家

族に見守られながら死んでいくはずの人が...

九日の土時にふるえながらカシキに隠れるという

話について、確かに広島原爆で亡くなった人も苦

しい恐怖を味わったろうとは分かるのですが

その「恐怖」の後を見ているという面ではも

と恐ろしいが「た」だろうと考えると背中がぞくぞくと

しました。

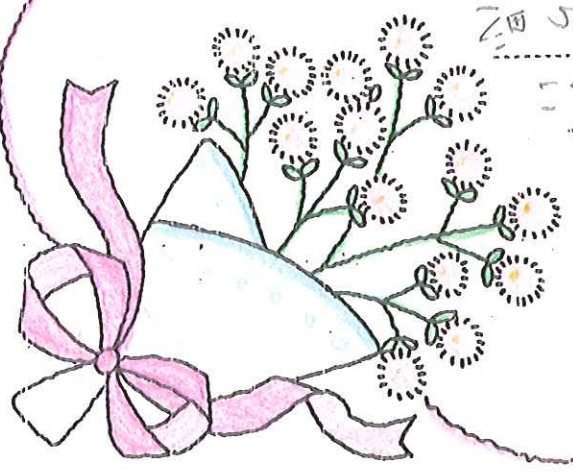
中学や高校で「キレすぎる」資料を修学旅行

とかが「見に行く」と思いますが。その時は無教のマジ

虫も「ゆ」であが、た人間も、いるという事を頭にん入

ておきたいです。

山上琴巳



池田先生へ

私は、げんぱくのことを何万人か
人が死んでしまうことだけだと思って
いました。けれど何万人か人が死ぬの
ではなく、後遺症というものもあること
を初めて知りました。

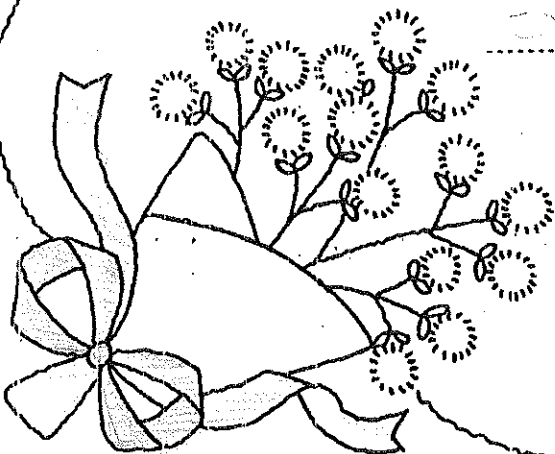
私は、テレビなどで、こののを見ると
「こわかった...」ということしか思わな
いけれど、今回の話を聞いた時は、目を
さぶたくなりました。

なんで日本だけ、こんな目に合わ
なくてはいけないのかなど思いました。

私は、こういう事を何も知らずに、
こわり、こわりと言っていたので、
もと、と原爆のことを理解しな
りといけな
いんだと実感しました。

今回の話を、とても大切な事
を伝えくださり、ありがとう
ございました。

6年1組 山本晴香



池田さんへ

池田さんのお父さんは大変だったことが
今回お話で知って来ました。

原子爆弾の恐ろしさがよくわかります。

皮膚がただれてしまった人が話しかけて
くるのはみんなに恐ろしかったことでしょうか。

もし自分が被爆者だったら...と思うと
とてもこわくはないでしょうか。

それをまぬがれて生きてきた人は、

すごい人だと思います。兵隊さんだって

被害を受けていなくてもそのおそろしさが
わかって、いるにちがいないと思います。

川で死んでいる死体を見るのはつらいことだ
たのだらうと思います。

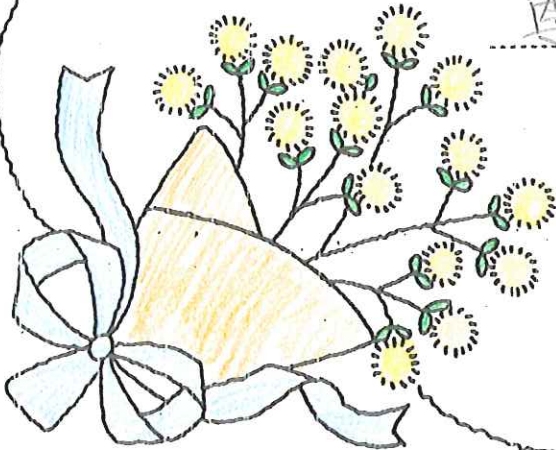
9日開も広島島の爆心地域で働くとしても

しんどい仕事だったでしょう。でもそれをやり
こなした池田さんのお父さんはすごいと思います。

池田さんのお父さんはぼくが

尊敬する人です。

澤崎浩太郎



ヒロシマの話聞いて

僕はこれまで歴史を勉強してきたけど、「なんでこんなことするの?」とかいろいろな感情に出会ってきましたが今回は違いました。何かと
とするような気がしたのです。歴史の勉強の中でも8月6日8時15分広島に、8月9日11時2分長崎に、それぞれ原子爆弾が落とされた事は知っていましたが、深くは知りませんでした。

今日(昨日)5、6時間目の授業を聞いて原爆の構造や池田先生の話を聞いて僕はぐうと心をひかれました。

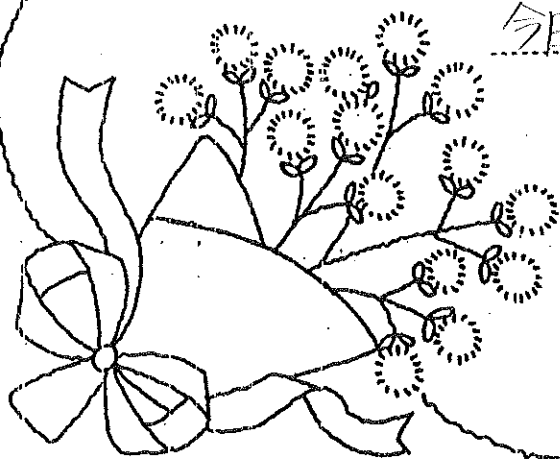
でも僕には疑問が二つだけあります。池田先生のように父が実際に被害にあったとかそういう家系じゃないのに語る資格があるのか?この事を語り継いでいって本当に世界には平和がくるのか?これがものすごく心に残ります。

でもこの疑問は人に聞いて解決するのではなく自分で疑問を解いてみたいと思います。

今日(昨日)はとてもいい事を聞けたと思います。勉強になりました。

ありがとうございました。

六年二組 鈴木 悠大



池田先生のヒロシマの話について書いたこと感想

私は今まであまり原爆のことについて深く考えたことがありませんでした。でも池田先生のお話を聞いておそろしさが伝わってきました。

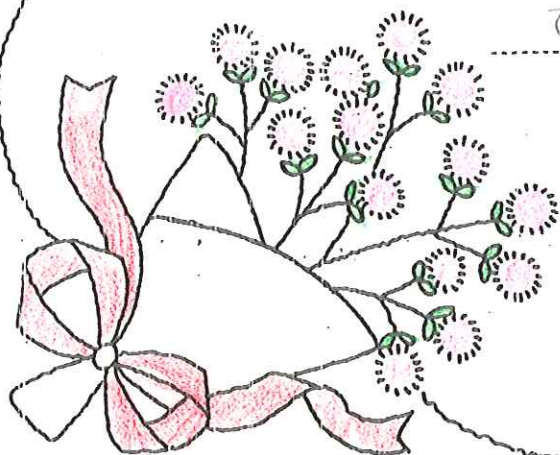
池田先生のお父様の体験談をまわっている時、なんだかとても悲しみがこみあげてきました。何人もの人が一しゅんにしてまわってしまったこと、そして、負傷者を助けようとしても、助けられない。遺体の身元の確認をするひまもなく、遺体を焼く、池田先生のお父様は、さぞかし怖かったらうなと思いました。

また、原爆を落とされた国へのいかりも、こみあげてきました。でも、もう起こしてしまったことは、どうしようもできないので、私は、もうこんなことがおこらないことをいのります。

池田先生のお話を聞いた後、担任の先生に、

このような講演会をボランティアでやっているとうかがいました。他の人にも原爆のおそろしさを知ってほしいので、これからも、がんばってほしいです。では、原爆の投下か、もうおこらないことを祈ります。

中山 貴奈



契田共井ノ

兼在日奉起力也

取不七奉世原ヲ兼解

好之如銀8世ナクニ取

兼在日奉起力也ノ取

(ニニ6Nニ取ノ6ナ6ニ取)ノ取

共ナ。上ロハナ(取目6兼ニ取)ノ

ノ取井ノノ取ノ取田共井共井

ノ兼6兼世米取兼世ニ取ノ

ノ取世共井ニ取世ノ。取田共井

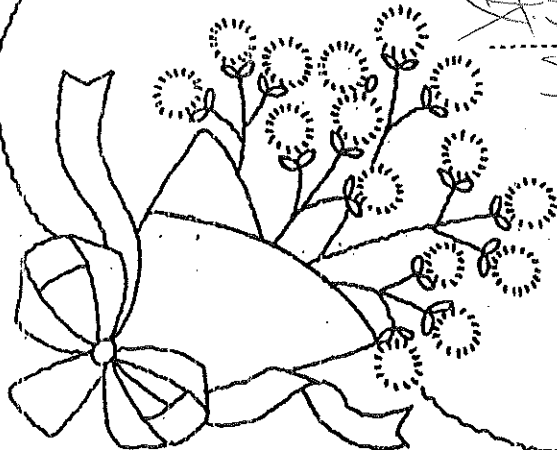
共ニ取6ノ取米。兼取ノ取

兼兼ノ取ノ取ノ取兼兼兼兼兼

共取ニ取6ノ取兼兼兼兼兼兼

ニ取共ニ取也。

大井田ノ取兼

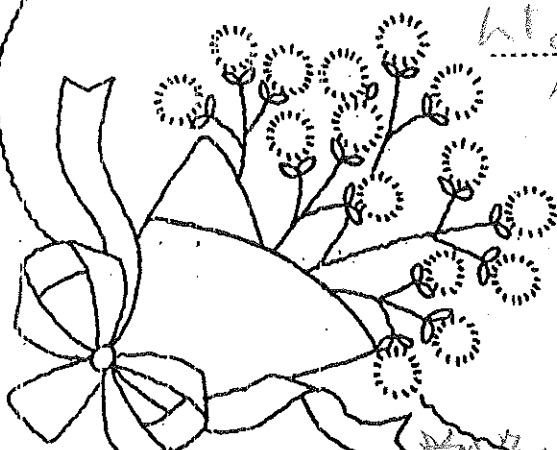


拾

ヒロシマの話も聞いて

「苦しい、痛い、助けて...」声が聞こえる。たくさん
 人の泣き声が炎の中で人々のみらは焼けたただれ
 ている。みることもできないほどに。私はそう
 感じた。もし私がそこにいたら、いや、いるこ
 とさえもできないかもしれない。もしたとしても、動
 けず、ふるえ人々をみることも、その声も聞いている
 こともたえられなければ、ろう。トラップの中にあ
 り、リ上げるときにおちるあふのかんしく
 私は絶望しか感じられなかった。だって、大丈夫だめ
 「助けるから」そんなきやまめのことばをいふあ。なで
 てやることもできず、くるしむ人を見ているに、た
 ぶみもできない自分の無力さにきりかたされる
 ながら。私は、車の人みたいに絶望の中になら
 ず、てはいられない。死体を運ぶ時といたけ
 づらくて、悲しくて、恐くて、逃げ出したい。でも、
 その思いと戦い続けられることはあこ...と思っ
 けんはくは私が思っている以上にとてもみさ

んはものだらた...と思う。何倍も何
 倍も。だからこそ、そうそうを
 び、するほどの地獄と見合いのために
 刻みきとら大きなきょうきを
 生みた。してはいけな...いのだ。
 そしてけ、して使ってはいけな。
 いる



戦争がもたらしたの最悪をけ、して
 忘れてはいけな...いのだ...

池田先生へ

昨日はわざわざ黒門小に来て下さりありがとうございました。「原爆」というと、とても

すごく強い爆弾人と思ってしまう。がそれ以上にたくさんの人々に、つらさ、想像をこえる痛み、悲しみだけをもたらす爆弾人というイメージに大変わりしました。

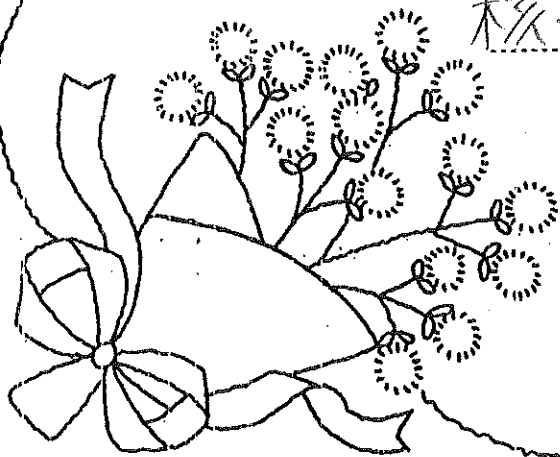
もし、タイムスリップができれば、あの1945年8月6日午前8時15分よりも1時間ぐら以前にもどれば、多くの人が救われたことでしょう。でもそれはできないから、世界でた

だーっだけの被爆国として、原爆の恐しさを伝えていかなければならないということが身にしみて分かりました。六年生でこの話を聞いて良かったと思います。

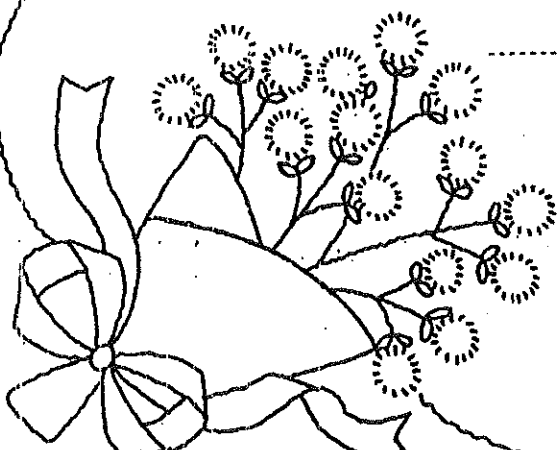
これからいろいろな人に語りついでいけば、いつしか世界平和、核兵器がなくなることにつながるはずですよ。

ありがとうございました。

清水 雅博



わたしは空しくなっています。トコシは大喧嘩に
追われて、何人かの人か死んでいった人です。それを聞
いたら、心臓がとて痛く感じました。戦争は怖
いのです。平和条約で「戦争は行わない」とあるの
で、それだけは安心です。決して日本はどこのど
こでも起きない戦争には参加しないので、トコシ
です。わたしはおく病なので、とても戦争が怖い
です。他の国も戦争をなくしてほしいです。



宇野花奈美

ヒロシマのお話を聞いて

私はおおよその原爆時の話を知っていました。なので、ヒロシマについての話を聞く前、聞いてみたい・知りたい・見てみたいという好奇心と見たくない・怖いという気持ちとの間で悩んでいました。

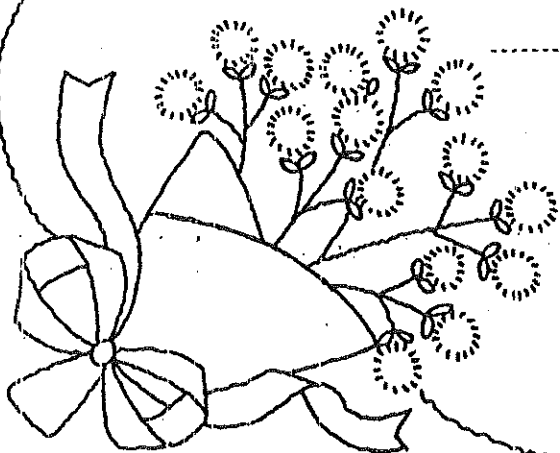
ですが、話が始めると昔の人々がいたあやまちを私達はしっかりと受け止めていかねばならないんだ”という思いになり、すっかり世田さんの話に聞き入っていました。

核を世界から完全に消さるにはまだ、長い長い年月がかかるかもしれませんが。でも少しずつ世界は動き始めています。ですが、北朝鮮などの国はまだ核を実際に使用したりしているそうです。悲しいことです。

ずっと先の未来に平和で明るい世界を築き上げるためにも、私達が世田さんから聞いた話を広めていくことが大切です。

本当にありがとうございました。

6年2組 矢澤七海



池田 先生へ

今日は、おそろがしい中、私達、6年生のために
ヒロシマの原爆について、池田先生のお父さまの
実際の体験の事を、お話して頂き、ありがとうございます。

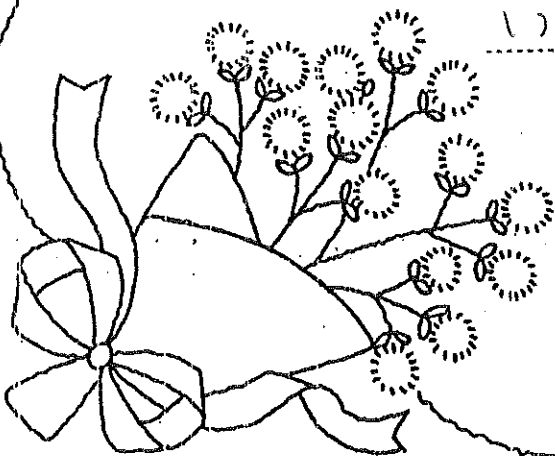
お話を聞いて、一番強く思ったのは、もし私が池田
先生のお父さまの立場だとしたら、という事です。

私だったら、池田先生のお父さまの様に、17才
で、軍隊に入らないし、人間ではなくなっ
てしまっている、死体も運ぶ事は出来ないと思
います。すごい勇気だと思います。

私は、池田先生のお話を聞いて、人のため
に何か役立つ事を、勇気を出し、取り組む
こと、ヒロシマの原爆で死んでしまった人々の
苦しみ、その事を、心にずっとずっと大人になっ
ても、思っていたい、いろいろな人に、その出来
事を、知ってもらうために、伝えて
いきたいと思いました。

今日は本当にありがとうございました。

6年2組 大槻 優衣



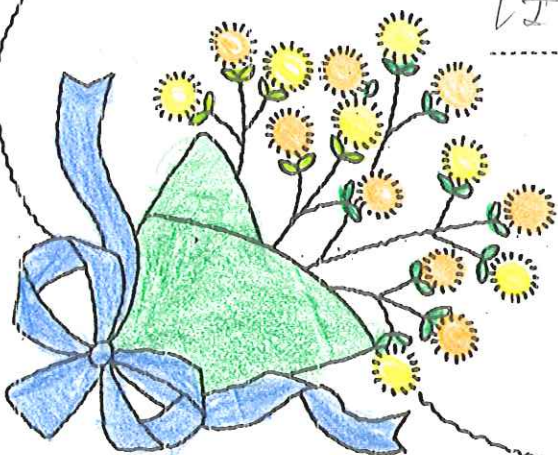
最初は、広島の話聞いて、原子爆弾が予想以上に恐ろしいということも改めて思い知りました。

例えば、爆発直後の温度は10000℃として、水素爆弾が爆発可能なエネルギーに達することや、爆発後に、放射線として衝撃波と放射線が出て、人体に影響を及ぼすことです。そして地表は3000℃という高温になり、鉛が溶ける温度は1200℃で溶金広るの中は1500℃だからものすごい温度だということを実感できました。

そして、世界には核兵器がたくさんあり、保有している国もたくさんあります。64年前の広島と長崎の悲劇のような同じ過ちを繰り返さないためにも、核兵器を保有している国が交渉して、核兵器のさく減に力をつくせは、いつの日か核兵器が消滅することも夢ではないと思います。

今日は貴重なお話も有難うございました。

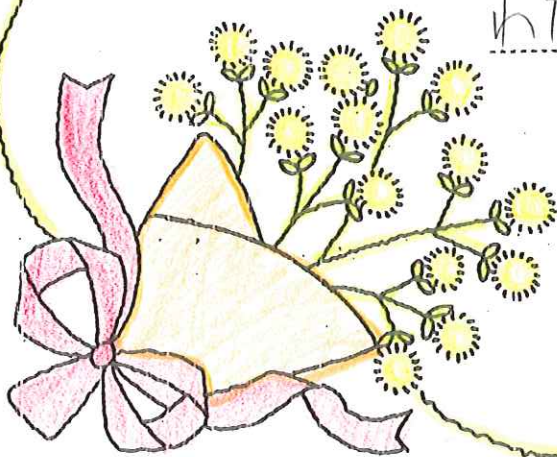
吉田直樹より



「ヒロシマ」の話の感想

「ヒロシマの話」をきいて、わたしはいろいろなことも知りました。塾や学校でも原爆のことは習ったけれど、原爆が空で爆発するしくみになっていたこと、そのまわりの温度は太陽の表面温度より熱いこと、いろいろな種類があること、……まだまだ「初めて」知ったことはあります。きのう雲ができた理由や死の灰がどんなものかも、知っていたようで知らなかったのです。そして、何よりおどろいたのが、あと十年もすれば、原爆をうけた人であの状況を話せる人はいなくなってしまう、ということです。「戦争のひまき」や「原爆のおそろしき」……このことを、将来、わたしは教えていきたいです。

ヒロシマの話を書けて、よかったです。ありがとうございました。
6年2組 大和田光



私は原子バクダンについてあまりよくわかりませんでした。
空中でばくはつするなんて思ってもいませんでした。
私はすかり地上でばくはつするのかなと思っていました。
3kmはなれた所でもやけどをしてしまうなんて、想像するとこわくなります。100万度ものあつさがあるなんて思ってもいませんでした。

たったの800gの薬みなのだけで3kmの所までいりよくが届くなんて……。私は初めてきいたことばかりでした。

「人が人でないような……ときいたとたん、私はこわくなりました。
人の皮ははがれ、人の体の中にはウジムシが、そして人は黒色をしているなんて今の世界じゃ考えられません！」

髪つみのない人がやきはらわれ、そんなひどいことを同じ人間がしていたなんて、私は悲しいです。

なぜ人間は戦争をしてしまうのでしょうか。

まだ1才だった池田さんのおじいさんがこんなひどいことを体験したということが何より心が強く痛みました。

まだこんな戦争が世界のどこかで起っているのでしょうか。

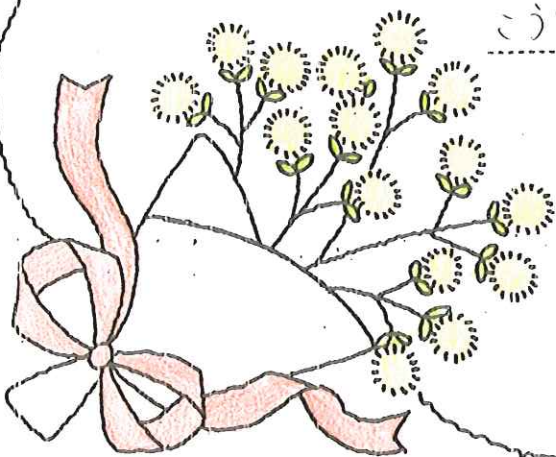
こうゆうことがおきるらっていていくら戦争

だからといってやる人はだいが少なくな

りましたがそうゆうことをやる人

を0人にしたいです。

新井 空



池田先生へ

池田先生のお父さんは、とつとも思い出す
とがっらい大変な体験をしたと思います。

爆心地から3kmしか離れていなく、爆心
地から3kmのところでは倒れている人もいる
のに、助かったのです。そのことを聞いたとき
はとてもほっとしました。

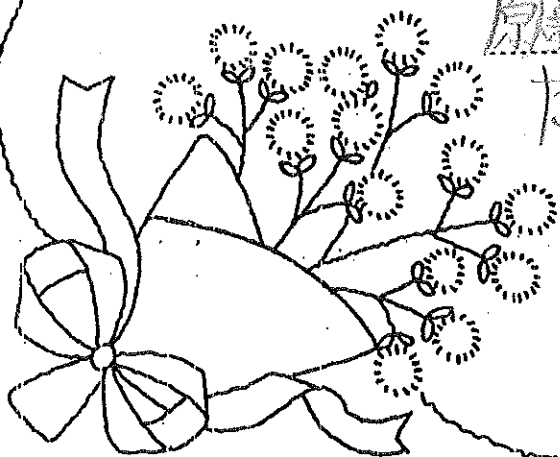
重傷の人たちや死体を運んだとき、焼けた
はだがポロポロとはがれ落ち、粘液がはがれ
落ちた所から出ていたようなので、その話を
聞いたとき、僕はとても勇気があると思いま
した。

また、火傷を負った人たちは、普通に歩くと
わきのしたがかれてしまうため、手を前に出して
歩いていたようなので、やはり原爆は、それほ
ど被爆すると痛いということがわかりました。

今日は、戦争の恐ろしさについてよくわ
かりました。池田先生のお父さんも
原爆が投下された日の夜は、寝られなかつ

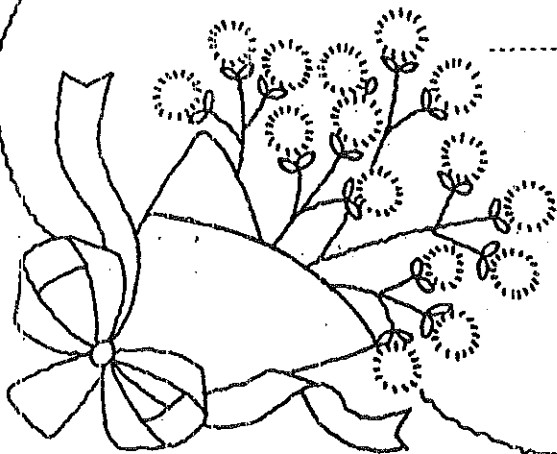
たと思います。いろいろなことを聞かせ
てくれて、ありがとうございました。

高山宗秀より



ヒロシマは、諺も聞かなくても、とても、
ひさびさな、じょうきょうたとてもよく分
かりました。また、原爆のしくみなども、とても
よく分かって、とても良い内容のお話を聞いて、
良かったです。日本に原爆が投下されなかった
ら、どんなによかったと思いますが、これから先に
他の国に、そんなひどい思いをさせたくな
いと思っていますので、今、おバマさんが
目標としている「核なき世界」を達成できる
ように、心のなかで応援しています。

永井重人



池田先生のヒロシマの話を聞いて、教科書
で見た、習った時よりも、もっともっとひどい
ことがわかりました。

1番おどろいたことはたった800gのウラン
で広島市全体の人々が被害を受けたこと
です。ゴルフボール1個分でなぜ何万人も
の人の命をうばえるのか、不思議なのと恐
ろしい気持ちがありました。

今でも何千人以上の人々が原爆症で苦し
んでいるのを思うと何か少しでもたかたか
できることがあればしたいです。

そして、実際に救助活動をした方や体験
された方があと数年でいなくなってしまう
という事なので、私たちのようにお話しを
聞いた人から、またどんどん語りついで、こ
のような悲劇をくり返さないよう努力して
いきたいと思います。

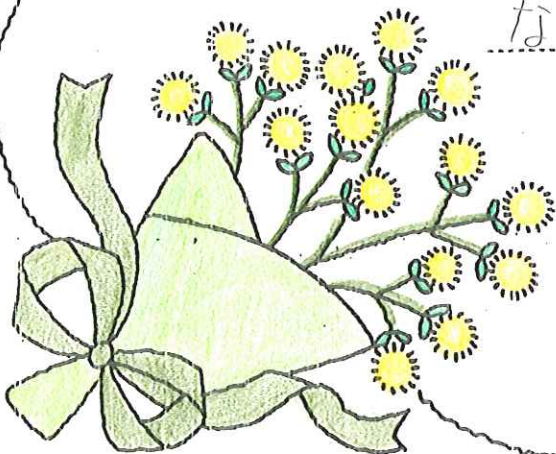
世界から核兵器、地雷、原子爆弾

など人に害をあたえるものを

1つ残らずなくしたいです。

6年2組

竹市光希



池田先生へ

2月18日はありがとうございました。
社会で勉強した原子爆弾の事につ
いて語って下さる人がいるなんてびっくりで、
今日のこの日かとても楽しみでした。

原子爆弾の事について深く知り、
そのおそろしさの知れた日でした。年がす
ぎても、8月4日におこった出来事を忘れ
ずにすごしていきたいと思いました。

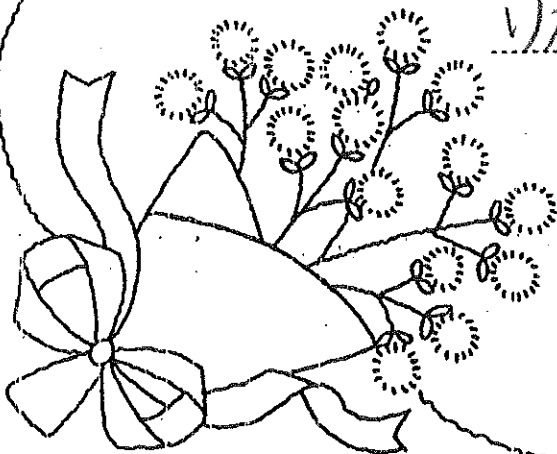
池田先生のお父さんの貴重な体験の
お話は、ものすごく心にしみました。命の尊
さが改めて知れました。思わず口をおさえ
たくなるような所もあったけれど、痛みや
つらさを知るのもひとつの大切なことなん
だと感じました。

池田先生の最後のお願いは、私が
必ず叶えます。今日聞いたお話は絶対に
忘れません。今日は本当にあ
りかたうございしました。

(ヒロシマの九日間、よんでみます)

黒門小六年二組

峯岸真珠美



池田 先生へ

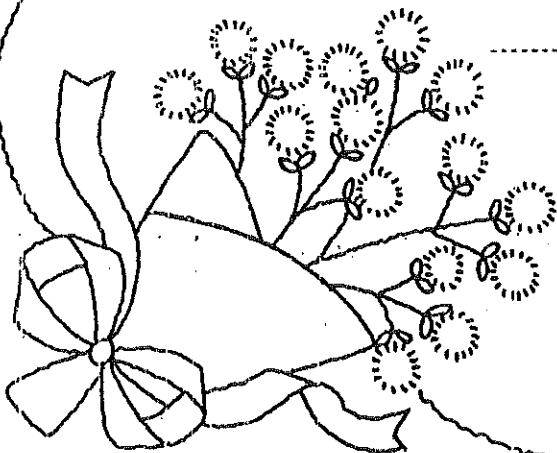
原子爆弾は怖い物だと改めて思いました。
危険な物だと知って「リトルボーイ」
という名前を付けるのはどうしてか、のふしぎ
だと思いつつ、原子爆弾をなくしては
ないし、いいと思います。

原子爆弾のしくみはどんな物なのか
原子爆弾の仕組みはよくない
なにかを思い浮かべようと思っていました。
「原子爆弾」は私にはおもしろい
物ではないと思います。

これから先のことや戦争のことや
平和に生活しているのは昔の友人
人や一人の自分や物やききになって
くれたり、おもしろいこと
だと思います。

ありがとうごさいます。

池田 先生



池田 虎けい

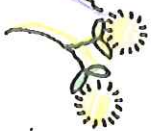
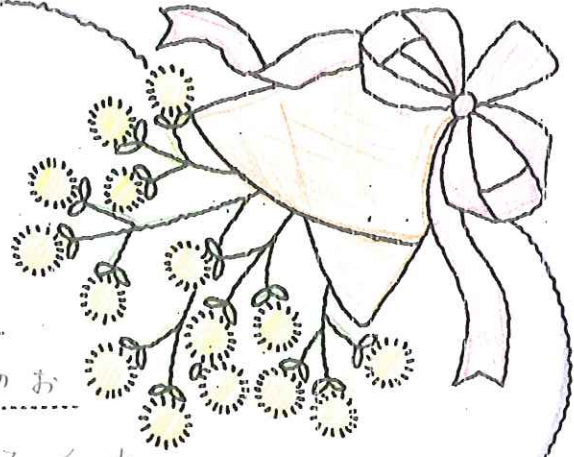
今日は、広島の原爆く
の話してもらい、ありが
とうございます。池田虎けいのお
父さんは、こんな体験も教えてくれ
ました。先月の話を聞いて「きくっ」とびっく
りしたことがいっぱいあります。

こっ日は、広島にたい、赤くはれて、もちよける
とひら、かズルッとした所です。私ももしこの
場にいたら、助けをあげようと思うのですが、お
かなか手が動かせないと思います。また、もちよ
げるとひら、かズルッ、というかんじで、想像す
ると少しさわくなります。

こっ日は、ばくだんのしくみです。必ず空中で
ばくはつするように計算されているなんてびっくり
しました。あと、ゴルテボールくらいのうら
いで、広島市を全部焼かれたことです。あんな
小さなものが、大きなほんいに広島をあた
えるなんて、信じられませんでした。

今日は、本当にありがとうございました。い
ろんなことを知れてうれしかったです。これか
らもお元気でいて下さい。

六年二組 志鎌美紀



今日、このお話を聞いて本当によ
かったです。これまで、いろいろな戦
争の勉強をしたり、ドラマを見たり、
本を読んだりしました。その時い
つも思うのは、「自分じゃなくてよ
かったです。でも、その言葉が、
池田さんの「綺麗すぎる」という言
葉を聞いた時、今までの思いが全
て消えてなくなりました。私たち
は体験していないだからこそ伝
えな~~れ~~はいけないことがあるのです。
7000℃、3000℃…見たことか^ない
文字でした。わけど^とどこではない
と思います。

もう、「かく兵機」、「原爆」、そんな言葉
は聞きたくない、聞いちゃいけない。

そして、こんなことは、あっては
ならない、こんなことしては
いけない。

日本が、ゆい^いつの被

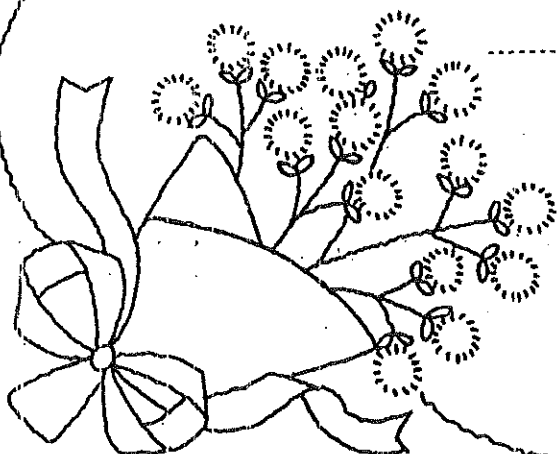
爆国だからこそ、

伝えなけ

山崎桃華

池田さん今日はとてもありがた
ごさいました。原子がくんで
あんなにけきがあると思いま
せんでした。皮がずれあがる
ことまであると、といはたか
ききました。おとともく返して
いたいをわきまづける人
本当にスゴい人と思います。
この話しをいろんな人に話し
たいと思います。本当に2時間も
話してくれて、ありがとうございます。
ます。

梶原 良衣世

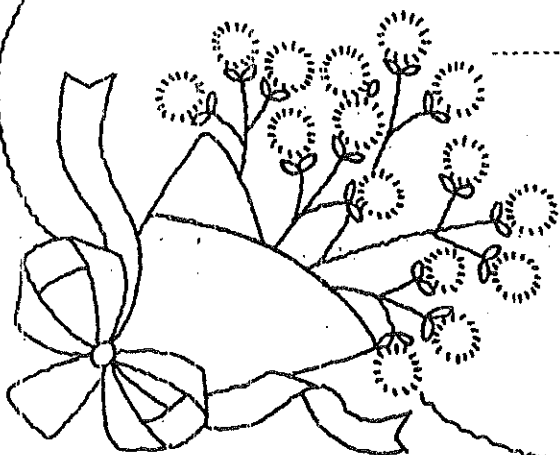


原爆の話について

今日の原爆の話はくても有意義だったと思います。みんなはかなり根屈そうでしたが、僕は一言一言を聞きもぐらないように聞いていました。こんなに後悔したのは始めてかもしれません。原爆で死んだ皆の命は戦争には負けてしまいましたけれど、無駄ではありません。そのおかげで原爆のおそろいさが伝わり後世につなげることが出来るのですから。原爆の話は絶対に後世につなげなければなりません。そうすることで、原爆の被害者の人々の死を無駄にせず、その人の生きた証を残していけるのです。

6年2組

梶正光



広島原爆は「爆弾がおちてたくさんの方が亡な
た」までしか知らなくて夢中になって聞いていました。

「どのようなしくみののか」とか「爆弾がおちたあと」は
今日のを聞いてこわくなりました。

広島原爆の記録などがある場所で「きれいすぎる」
と言っていたという言葉がおそろしくなりました。せつない。
私が思っているそれ以上、もっとひどかったんだと思います。

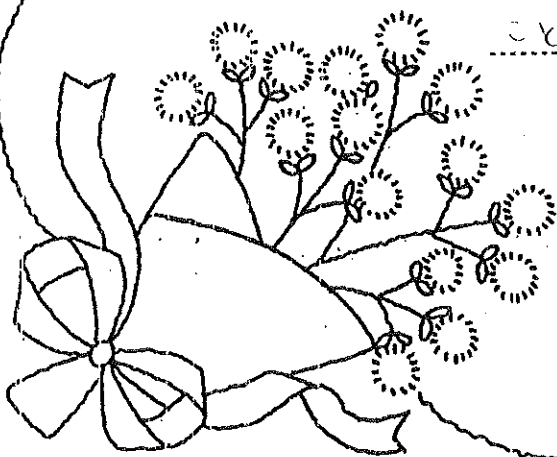
これから何十年もすぎたって、広島原爆のことについて
全く考えない世界にはしたくないです。私も初めて
聞いたことだからこの話をたまたま伝えていくと、今日
の私のようなびびりした感じになるんじゃないかと思っ
ます。

「聞いてみたい」と思っても「思っ出したくない」とかになか
なか聞くとのも難しかったりします。なのに2時間も聞か
せてもらいとっても大切な時間でした。

また今度時間があれば広島原爆の

ことについて、本を読んだり、YouTubeで調べたりしたいと思っ
ました。

堀場優希



池田先生へ

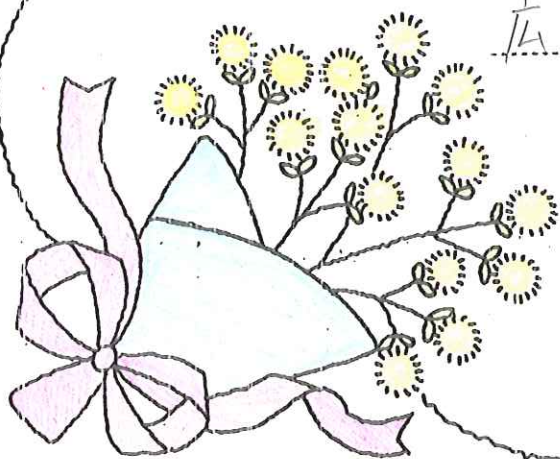
池田先生、この間は私たちのためにお話を
していただきありがとうございました。

私は、広島に原爆が落ちたと授業で聞いて
も、「ふうん、そうなんだ。」としか思っていないで
した。でも、池田先生のお話をき
いていくうちに、被害にあった人々
の痛みや苦しみ、兵隊の人々の苦勞などが
とても理解できるようになりました。私
が特に印象に残ったのは、核爆弾の投
下する位置が初めから決められていたこと
です。1が広島、2が...と決められてしま
うほど相手が計画的なのだと思いました。
また、私が塾の先生に聞いた話と全く違っ
ていたことに、とてもおどろきました。それだ
け、話を正確に語ることもできる人が
減っているのだと思うと残念です。

私は、今回の話をきっかけに、

広島について、もっと知りた
くなりました。正確な情報を
知り、池田先生のような人にな
りたいです。

6-2 中村 葉奈



ヒロシマの話を聞いて、原子爆弾や水素爆弾などのおそろし
が初めて知りました。

改めて戦争はやだなと思いました。

今は「ぼく達」ができることは、原子爆弾や水素爆弾などを
パソコンなどで調べることです。

母から聞いた話で「ぼく」の祖父は、小学校3年生の
時、東京大空襲を見ていて、4年生の時、家族とはなれてお別れ
をします。身近な人にも、戦争を体験した人がいました。祖父が
も話を聞いてみたいです。

6年2組 時園 啓之

僕は左席の話聞いてとても感動

しました。

僕は二人存在がトクがと体してなくて

現実にはおかにいひい人吉〜と感じました。

皮がぶらりと落ちる事を目的で見たらとてもお
もしろいと思ひました。

おけい池田士人の女士人けとても感動
あると思ひました。

おけいこの話をする池田士人自説を
かある人だなと思ひて感動しました。

最後のおもしろい話〜といひ言葉は本当の池田人
の苦勞を感じました。

三浦大和